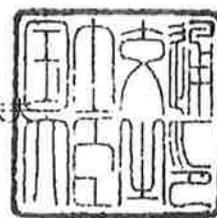


認定書

国住参建第 1335 号
令和 4 年 7 月 15 日

吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 46 条第 4 項表一の（八）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FRM-0717
2. 認定をした構造方法等の名称
厚 9.5mm ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板/せっこうボード用くぎ
GNF50/外周部@75mm、中通り@150mm/大壁造の床勝ち仕様/木造軸組耐力壁に
おける構造方法
3. 認定をした構造方法等の内容
2.7 の倍率を有する軸組と同等以上の耐力を有する軸組
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造方法の名称

厚 9.5mm ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板/せっこうボード用くぎ GNF50/外周部
@75mm、中通り@150mm/大壁造の床勝ち仕様/木造軸組耐力壁

2. 構造の概要

(1) 面材の概要

a) 面材の名称

ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板

b) 面材の構成及び組成

面材の断面図を図1に示す。また、その構成材及び組成を表1に示す。

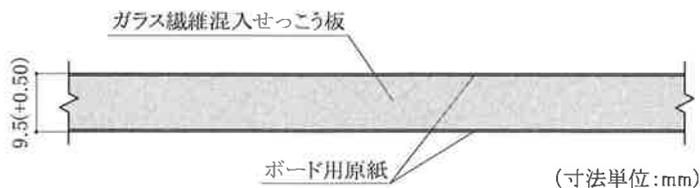


図1 面材の断面図

表1 構成材及び組成

<p>表裏面材： ボード用 原紙</p>	<p>組成などは社外秘とさせていただきます。</p>
<p>芯材： ガラス繊維 混入せっこ う板</p>	<p>組成などは社外秘とさせていただきます。</p>

c) 寸法

	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)
寸法	9.5	900~1000	1800~4500
許容差	0~+0.5	±2.5	0~+5

d) 側面加工形状

図2に示すベベルエッジ又はスクエアエッジとする。

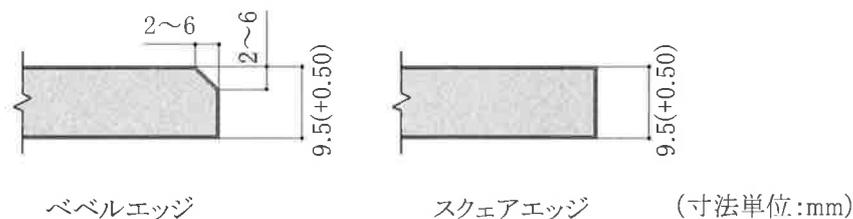


図2 側面加工形状断面図

e) 品質の基準

面材は、国土交通大臣の認定を取得した面材（認定番号：RM-0059）に対し、面材の厚さの範囲を制約している。

性能：（試験方法はJIS A 6901：2014による。）

含水率 (%)	曲げ破壊荷重 (N)		単位面積当たりの質量 (kg/m ²)
	長さ方向	幅方向	
5以下	500以上	200以上	6.25~7.63

外観：ボード用原紙張ガラス繊維混入せつこう板の両面及び側面には、使用上有害な欠け、割れ、汚れ、きずなどがあつてはならない。

(2) 軸組材の仕様概要

部 位	寸 法 等	
柱、土台、胴差、桁、梁	断面寸法	見付け 105mm×見込み 105mm 以上
継手間柱	断面寸法	見付け 45mm×見込み 105mm 以上
間柱	断面寸法	見付け 27mm×見込み 105mm 以上
胴つなぎ	断面寸法	見付け 60mm×見込み 45mm 以上
受材	断面寸法	見付け 30~45mm×見込み 40mm 以上
柱の間隔	1枚張り	900mm~2000mm
	縦継ぎ張り	900mm~1820mm
面材の継手となる継手間柱と柱の間隔	1枚張り	900mm~1000mm
	縦継ぎ張り	900mm~910mm
間柱と柱又は間柱と継手間柱の間隔	1枚張り	450mm~500mm
	縦継ぎ張り	450mm~455mm
横架材間の内法寸法	1枚張り	1505mm 以上 4395mm 以下
	縦継ぎ張り	2625mm

(3) 接合具の仕様

規格名称：くぎ
規格番号：JIS A 5508:2009
種類：せっこうボード用くぎ
呼び：GNF50

(4) その他の仕様

a) 床下地材

名称：構造用合板
規格：合板の日本農林規格（令和元年6月27日農林水産省告示第475号）
接着の程度：特類
等級：2級以上
厚さ：12mm以上30mm以下

b) 受材の接合具

規格名称：くぎ
規格番号：JIS A 5508:2009
種類：鉄丸くぎ
呼び：N90

3. 耐力壁の適用範囲

- (1) 当該面材を使用した耐力壁の適用範囲は、建築基準法施行令第40条から第49条（ただし、第48条第2項は除く）に準拠した木造軸組とする。
- (2) 当該耐力壁は、外周壁の屋外側下地材、室内側下地材及び内部壁の下地材に用いるものとする。当該耐力壁を外周壁の屋外側下地材として用いる場合は、防水紙その他適切な防水措置を講じるものとする。
- (3) 建築基準法施行令第46条第4項の表1に定める軸組又は昭和56年建設省告示第1100号に定める軸組を併用する場合は、倍率の数値5を限度としてそれぞれの倍率の数値を加算できるものとする。

4. 耐力壁の施工仕様の概要

(1) 軸組材

- ①柱、横架材（土台、胴差、桁、梁）の断面寸法は見付け105mm×見込み105mm以上とする。
- ②間柱の断面寸法は見付け27mm×見込み105mm以上とする。
- ③面材の横方向の継手となる継手間柱の断面寸法は見付け45mm×見込み105mm以上とする。
- ④面材の縦方向の継手となる胴つなぎの断面寸法は見付け60mm×見込み45mm以上とする。
- ⑤面材を留め付ける受材の断面寸法は見付け30～45mm×見込み40mm以上とする。
- ⑥柱の間隔について、縦継ぎ張りの場合は900mm以上1820mm以下、1枚張りの場合は900mm以上2000mm以下とする。
- ⑦面材の継手となる継手間柱と柱の間隔について、1枚張りの場合は900mm以上1000mm以下、縦継ぎ張りの場合は900mm以上910mm以下とする。
- ⑧間柱と柱又は間柱と継手間柱の間隔について、1枚張りの場合は450mm以上500mm以下、縦継ぎ張りの場合は450mm以上455mm以下とする。
- ⑨面材が取り付く胴つなぎは、床下地材から1820mmの位置（胴つなぎ芯）に取付ける。

⑩横架材間の内法寸法について、縦継ぎ張りの場合は 2625mm、1 枚張りの場合は 1505mm 以上 4395mm 以下とする。

(2) 面材の割付

面材は軸組に直張りとし、張り方は横架材間に胴つなぎを設けて 2 枚の板で縦継ぎ張りとするか、または 1 枚の板で縦張りとする。ただし、2 枚の板で縦継ぎ張りとする場合、下側の面材の長さは 1820mm とし、上側の面材の長さは 805mm (面材のかかり代が最小で床下地材厚さが 30mm の場合) とする。

(3) 面材の留め付け

- ①面材は、せっこうボード用くぎ GNF50 を用いて、面材の外周部ではくぎ相互のマーキング間隔を 75mm (マーキングからのくぎのずれの許容差: $\pm 8\text{mm}$) 以下で柱、横架材、受材、継手間柱、胴つなぎに、面材の中通りの部分ではくぎ相互のマーキング間隔を 150mm (マーキングからのくぎのずれの許容差: $\pm 15\text{mm}$) 以下で間柱に留め付ける。ただし、面材端部に間隔の狭い箇所が集中するような極端な配置とならないようにする。
- ②くぎが有効に作用するように、面材の端部とくぎとの間隔 (へりあき距離) は、受材、横架材及び胴つなぎでは 15mm (許容差: $\pm 3\text{mm}$)、柱及び継手間柱では 12mm (許容差: $\pm 2\text{mm}$) とする。
- ③面材の外周部及び中通りの部分におけるくぎ本数について、面材の長手方向及び短手方向の辺長 (H、L) からへりあき距離 (H_1+H_2 、 L_1+L_2) を減じた長さ ($H-(H_1+H_2)$ 、 $L-(L_1+L_2)$) を算出し、その長さを各部のくぎ間隔 (P、Q) で除する。
外周部のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて 1 を加えた値とし、中通りの部分のくぎ本数はその値の小数第一位を切り上げて 1 を減じた値とする。
なお、図 3 に示す通り、面材四隅のくぎは長手・短手両方向のくぎ本数として数えることとするが、中通りの部分と外周部のくぎを結ぶ直線上のくぎは、中通りの部分のくぎ本数として数えないものとする。また、くぎ本数の一覧を表 2 に示す。
ここで、L は 900mm~1000mm のいずれかの値、H は耐力壁の施工仕様に応じた下側もしくは上側の面材の長さの値、 H_1 及び H_2 は 15mm、 L_1 及び L_2 は 12mm、P は 75mm、Q は 150mm とする。
- ④面材のかかり代は、柱は 45mm 以上、梁、胴差および桁は 30mm 以上、継手間柱は 20mm 以上、受材は 30mm 以上、胴つなぎは 30mm 以上とする。
- ⑤くぎ留めは、面材に表示されたくぎ留めの位置に従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等した後にくぎ留めする。
- ⑥面材の継手部は縦方向および横方向とも突き付けとなるようにする。
- ⑦くぎは、面材表面に面一になるように留め付ける。

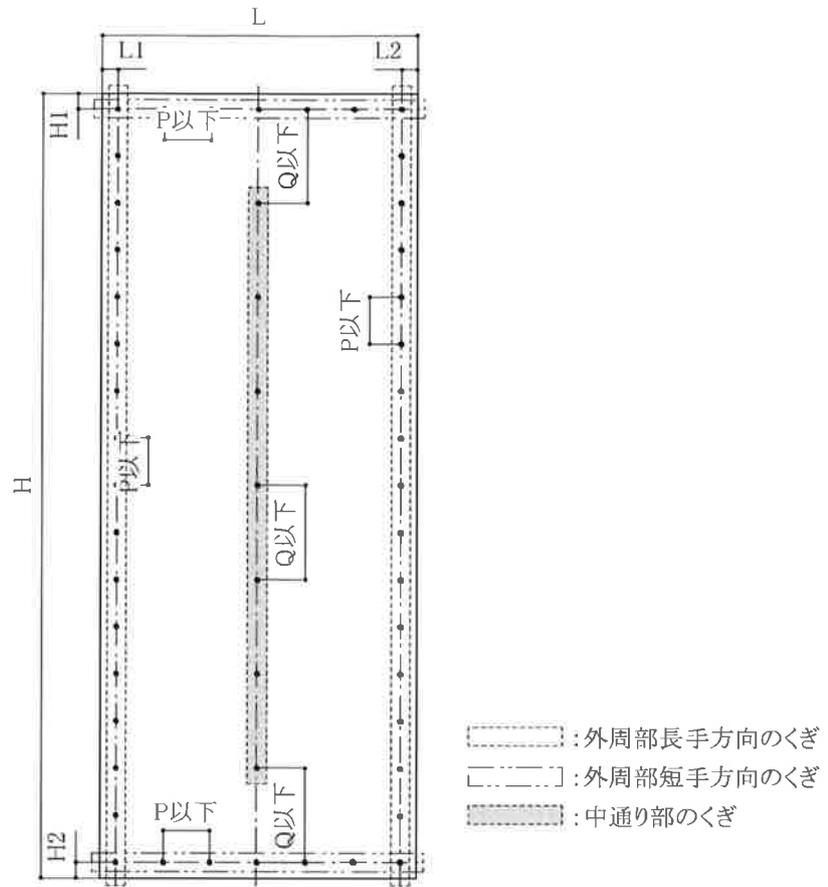


図3 各部のくぎ本数

表2 くぎ本数一覧

項目	仕様
面材と軸組	種類 : せっこうボード用くぎ GNF50
	間隔 : 外周部間隔 75mm 以下 中通り間隔 150mm 以下
	面材長辺からの縁端距離 柱・継手間柱位置 12mm
	面材短辺からの縁端距離 胴つなぎ位置 15mm
	横架材位置 15mm
本数	: 面材外周部 短手方向長さ 900mm 以上 924mm 以下 13本
	924mm 以上 999mm 以下 14本
	999mm 以上 1000mm 以下 15本
	面材外周部 長手方向長さ
	縦継ぎ張りの上側面材 805mm 12本
	縦継ぎ張りの下側面材 1820mm 25本
	1枚張りの面材 1505mm 以上 1530mm 以下 21本
	1530mm 以上 1605mm 以下 22本
	1605mm 以上 1680mm 以下 23本
	1680mm 以上 1755mm 以下 24本
	1755mm 以上 1830mm 以下 25本
	1830mm 以上 1905mm 以下 26本
	1905mm 以上 1980mm 以下 27本
	1980mm 以上 2055mm 以下 28本
	2055mm 以上 2130mm 以下 29本
	2130mm 以上 2205mm 以下 30本
	2205mm 以上 2280mm 以下 31本
	2280mm 以上 2355mm 以下 32本
	2355mm 以上 2430mm 以下 33本
	2430mm 以上 2505mm 以下 34本
	2505mm 以上 2580mm 以下 35本
	2580mm 以上 2655mm 以下 36本
	2655mm 以上 2730mm 以下 37本
	2730mm 以上 2805mm 以下 38本
	2805mm 以上 2880mm 以下 39本
	2880mm 以上 2955mm 以下 40本
	2955mm 以上 3030mm 以下 41本
	3030mm 以上 3105mm 以下 42本
	3105mm 以上 3180mm 以下 43本
	3180mm 以上 3255mm 以下 44本
	3255mm 以上 3330mm 以下 45本
	3330mm 以上 3405mm 以下 46本
	3405mm 以上 3480mm 以下 47本
	3480mm 以上 3555mm 以下 48本
	3555mm 以上 3630mm 以下 49本
	3630mm 以上 3705mm 以下 50本
	3705mm 以上 3780mm 以下 51本
	3780mm 以上 3855mm 以下 52本
	3855mm 以上 3930mm 以下 53本
	3930mm 以上 4005mm 以下 54本
	4005mm 以上 4080mm 以下 55本
	4080mm 以上 4155mm 以下 56本
	4155mm 以上 4230mm 以下 57本
	4230mm 以上 4305mm 以下 58本
	4305mm 以上 4380mm 以下 59本
	4380mm 以上 4395mm 以下 60本

面材中通り 長手方向長さ			
縦継ぎ張りの上側面材	805mm		5本 または 6本
縦継ぎ張りの下側面材	1820mm		11本 または 12本
1枚張りの面材	1505mm 以上	1530mm 以下	9本 または 10本
	1530mm 以上	1680mm 以下	10本 または 11本
	1680mm 以上	1830mm 以下	11本 または 12本
	1830mm 以上	1980mm 以下	12本 または 13本
	1980mm 以上	2130mm 以下	13本 または 14本
	2130mm 以上	2280mm 以下	14本 または 15本
	2280mm 以上	2430mm 以下	15本 または 16本
	2430mm 以上	2580mm 以下	16本 または 17本
	2580mm 以上	2730mm 以下	17本 または 18本
	2730mm 以上	2880mm 以下	18本 または 19本
	2880mm 以上	3030mm 以下	19本 または 20本
	3030mm 以上	3180mm 以下	20本 または 21本
	3180mm 以上	3330mm 以下	21本 または 22本
	3330mm 以上	3480mm 以下	22本 または 23本
	3480mm 以上	3630mm 以下	23本 または 24本
	3630mm 以上	3780mm 以下	24本 または 25本
	3780mm 以上	3930mm 以下	25本 または 26本
	3930mm 以上	4080mm 以下	26本 または 27本
	4080mm 以上	4230mm 以下	27本 または 28本
	4230mm 以上	4380mm 以下	28本 または 29本
	4380mm 以上	4395mm 以下	29本 または 30本

(4) その他の施工仕様

床位置では、床下地材を厚さ 12mm 以上 15mm 以下の場合、鉄丸くぎ N50 (JIS A 5508 : 2009) を用いて、厚さ 15mm 超え 20mm 以下の場合、鉄丸くぎ N65 (JIS A 5508 : 2009)、厚さ 20mm 超え 30mm 以下の場合、鉄丸くぎ N75 (JIS A 5508 : 2009) を用いてくぎ相互の間隔を 150mm 以下で土台又は横架材に留め付けた後、見付け 30~45mm×見込み 40mm 以上の受材を鉄丸くぎ N90 (JIS A 5508 : 2009) を用いてくぎ相互の間隔を 150mm 以下、へりあき距離 (面材からの距離) を 20mm (許容差±5mm) で床下地材に留め付ける。ただし、床下地材留め付けくぎから 10mm 以上ずらして受材くぎを留め付ける。

(5) 施工図

施工図を図 4~図 7 に示す。

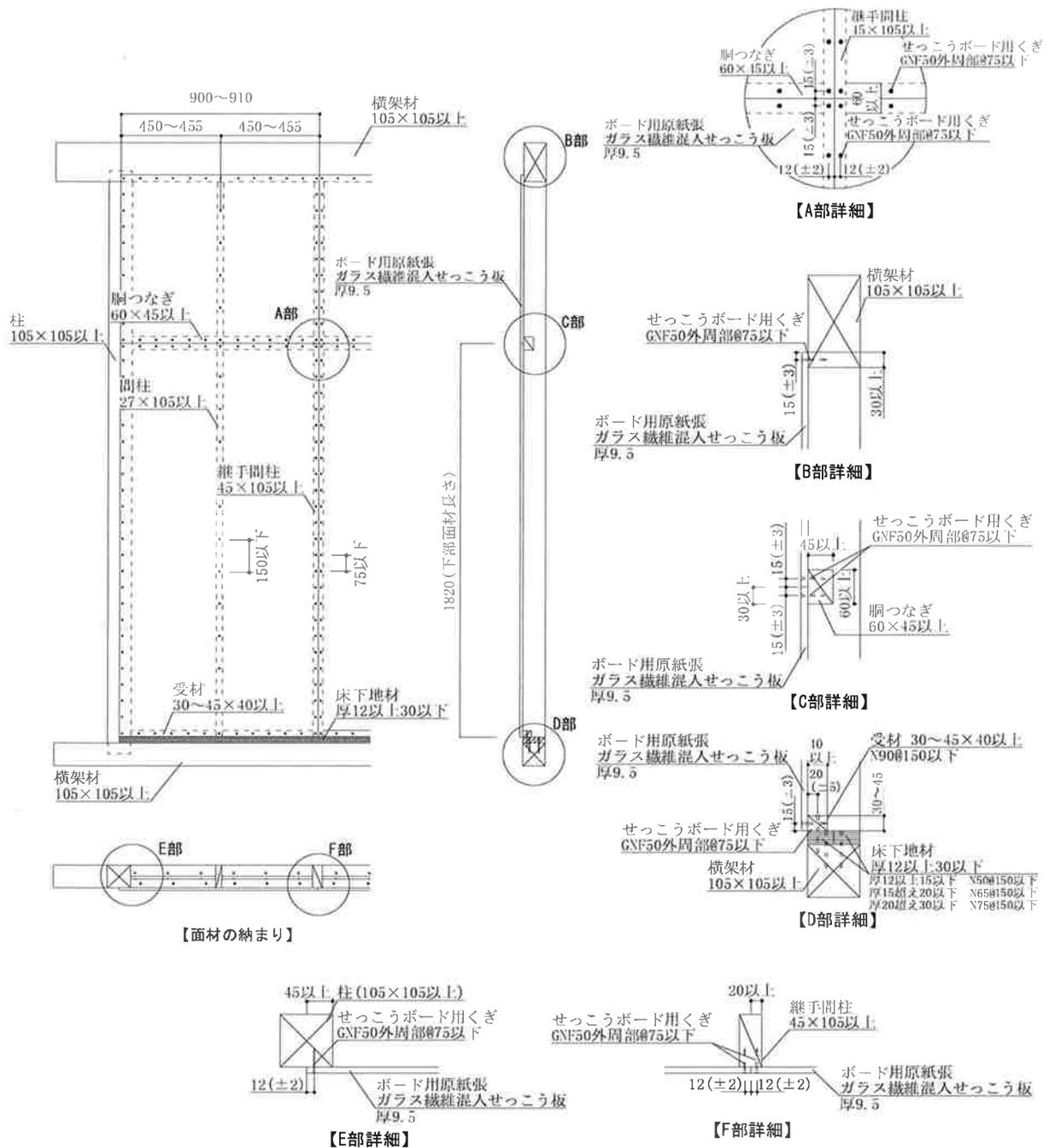


図5 施工図：縦継ぎ張りの場合 (寸法単位：mm)

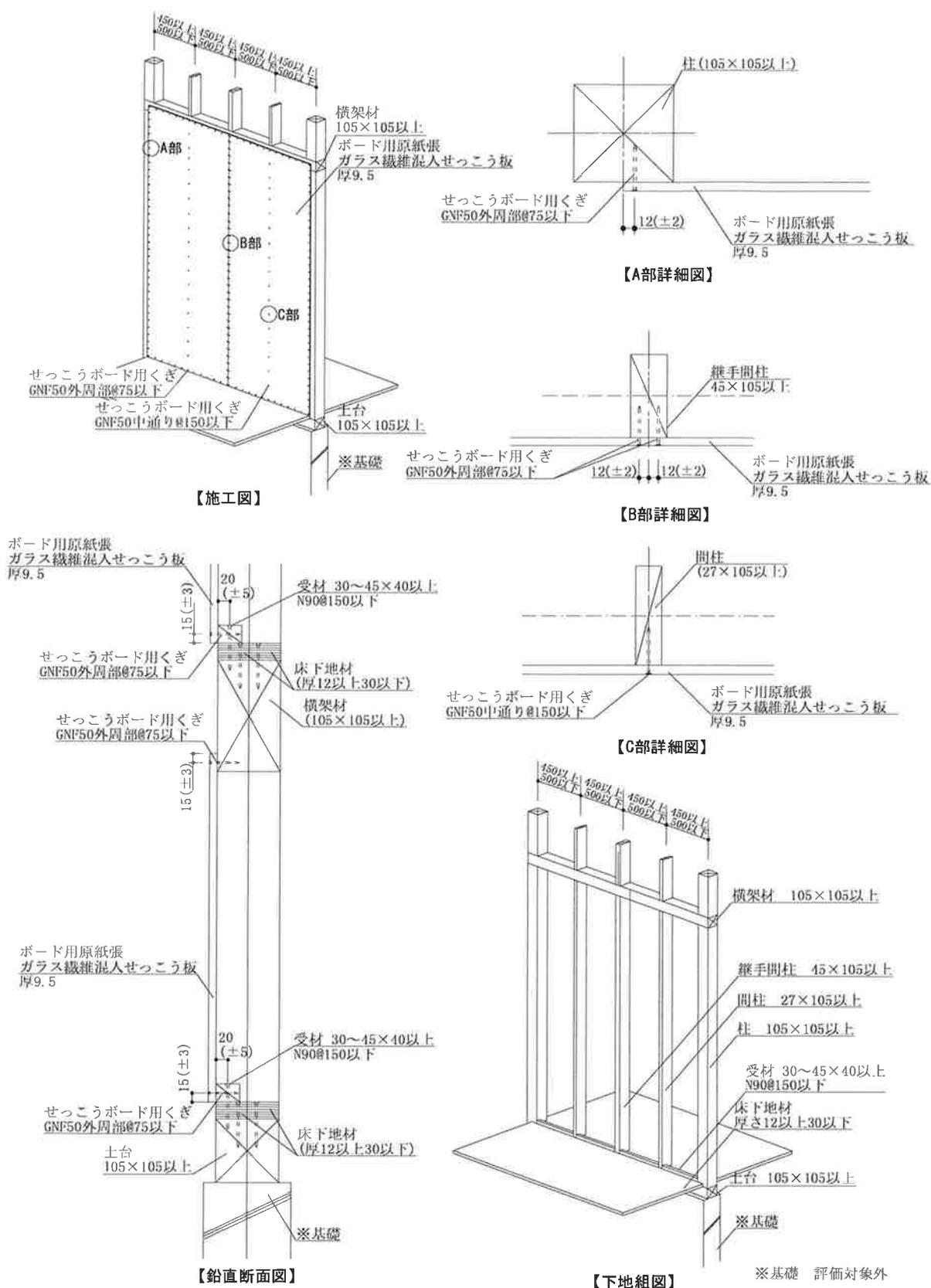


図6 施工詳細図：1枚張りの場合 (寸法単位：mm)

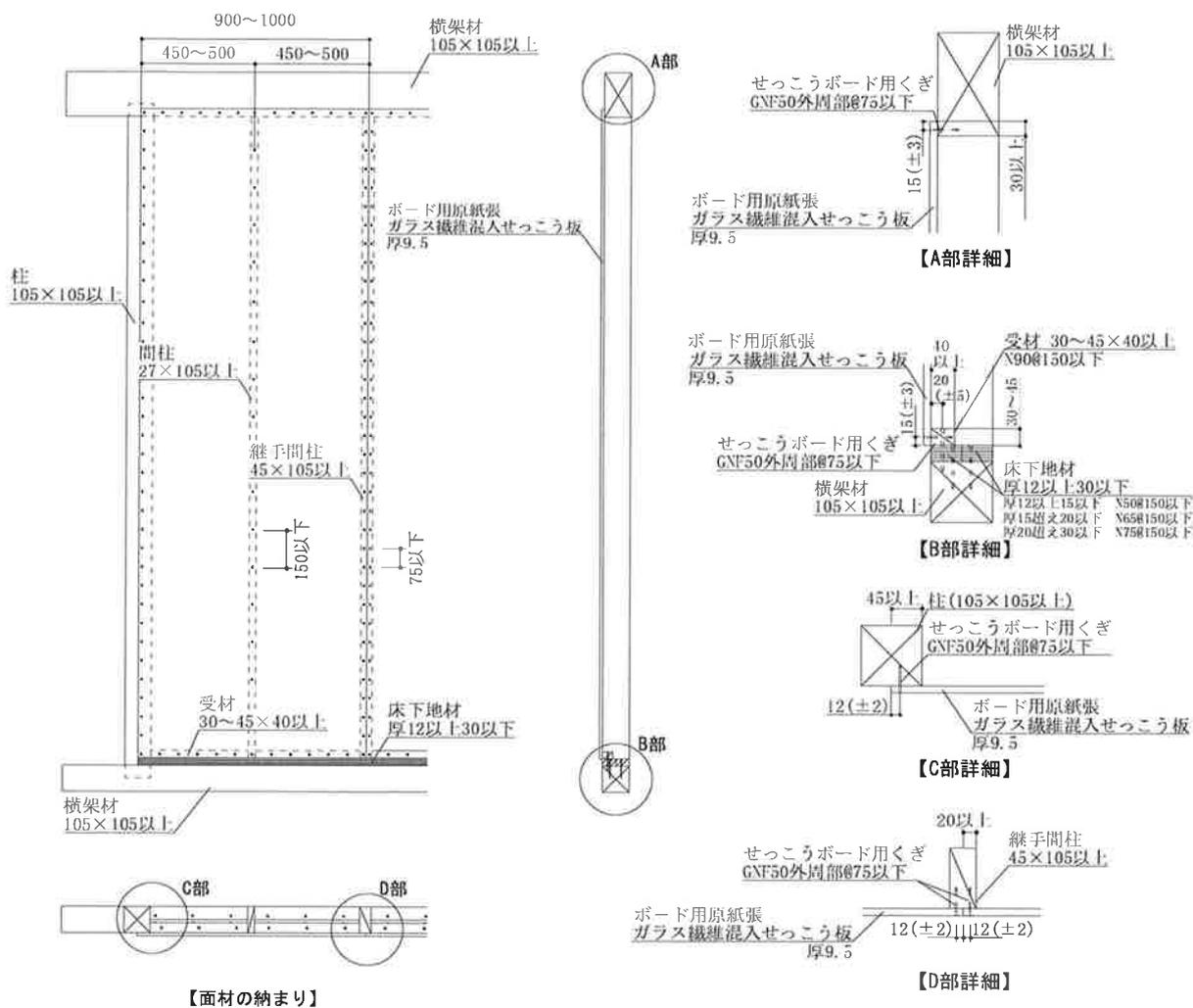


図7 施工図：1枚張りの場合 (寸法単位：mm)